

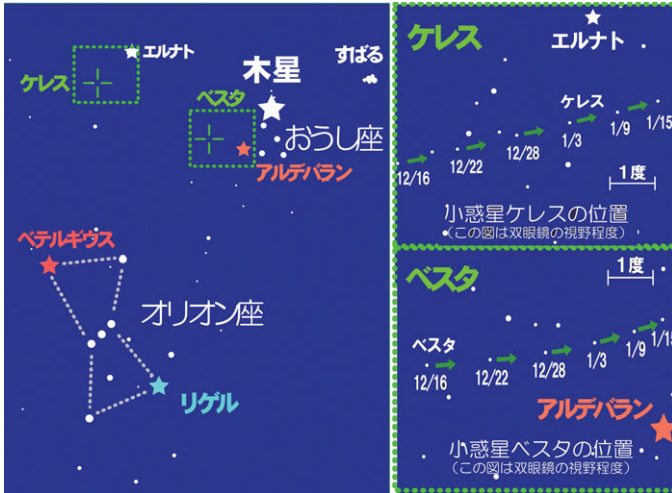


<12月25日 月と木星・すばるがならぶ>

クリスマスの夜。宵の空によくめだっている木星と月とならびます。こういうときは、科学館にも一般の方から「月のそばのあの星はなんですか?」という質問電話がよくかかってきます。大阪中心部でも確認できる「すばる」ともならびます。前後数日の位置の変化も楽しめます。

<12月下旬 準惑星ケレスと小惑星ベスタがみごろ>

ケレスもベスタも19世紀になって発見された天体です。最低でも双眼鏡が必要ですが、この時期は地球に接近し、まだ見やすくなっています。現在はオリオン座の近くにあります。星図を載せますので見られるかチャレンジしてみてください。



<1月3日 しぶんぎ座流星群が極大>

8月のペルセウス座流星群、12月のふたご座流星群とともに「3大流星群」といわれる、しぶんぎ座が極大です。極大予報は17時ですので、3日の夕方～夜にかけて北の空を中心に、流れ星を探すのがいいでしょう。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
12	20	木	●上弦(14時) 準惑星ケレスの接近
	21	金	冬至
	25	火	月と木星・すばるがならぶ
	26	水	月と小惑星ベスタがならぶ
	28	金	○満月(19時)

月	日	曜	主な天文現象など
1	2	水	地球が近日点通過 (1.47100184億km)
	3	木	しぶんぎ座流星群が極大
	5	土	●下弦(13時)
	12	土	●新月(5時)

渡部 義弥(科学館学芸員)